

第67回 日経広告賞の主な受賞作品を紹介します。

環境部門 最優秀賞 / 環境大臣賞 住友林業



住友林業
コーポレート・
コミュニケーション部長
大野 裕一郎氏

高さ350mの超高層木造ビルを2041年に建てる計画を、迫力あるビジュアルで表現した。実現可能な構想を具体的な技術データを示し説得力を持たせている。環境に配慮しながら、挑戦的に木材の可能性を高く評価された。読者の抱く「なぜ？」を、そのままインパクトのあるキャッチコピーにして興味を喚起させた。国内外数多くのメディアからの問い合わせや講演依頼に「木による循環型社会、持続可能なまっすぐりへの関心や期待の高さを改めて認識した」（大野氏）。

2018年2月15日付 日経朝刊 全30段・カラー

IR・アニバーサリー部門 最優秀賞 セブン&アイ・ホールディングス

2018年3月27日付 日経朝刊 全30段・カラー

環境(E)や社会(S)、企業統治(G)の観点から企業を評価する「ESG投資」に注目が集まるなか、セブン&アイ・ホールディングスのESGへの取り組みをイラストや写真で表現した。持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標と自社の事業部門の活動とをひもつけて明示したのが高く評価された。「ESG投資の加速という環境変化のなかで、今後もSDGsの取り組みを深化させ、様々なステークホルダーの期待に応える企業になるよう努力していきたい」(松本氏)



セブン&アイ・ホールディングス
執行役員
コーポレートコミュニケーション
本部長
松本 稔氏

日経マガジンスタイル部門 最優秀賞 GINZA SIX リテールマネジメント

2018年4月1日付 THE NIKKEI MAGAZINE STYLE

開業1周年を迎える4月に、日経マガジンスタイルを1冊まるごと使って、館内ブランドの限定商品を紹介した。ブランドづくりの考え方を文章できちんと伝えていることが高い評価を受けた。表紙に樹齢約250年の真柏の盆栽を採用したのは「生命力や躍動感が、現代と伝統が融合する先に未来を見立てていく当館1周年にふさわしい」(澤松氏)からだ。今後もGINZA SIXの魅力を伝え、顧客の共感を得られる広告づくりに取り組んでいく。



GINZA SIX
リテールマネジメント
プロモーション・
サービス部長
澤松 亮氏